

1 題材名 きみはどっちのタイプ？

2 題材について

本学級は、8名の児童が在籍する自閉症・情緒障害特別支援学級である。高学年の意識をもち、学校のきまりを守って生活しようとする意欲的な姿勢が見られる。しかし、集団生活の中では、自分の思いを友達に伝えられなかったり、他者の意見を聞き入れられず、自分の思いを通してしまったりすることがあり、良好な人間関係を築くことが難しい児童が多い。

本題材では、自分の意見を理由を添えて伝える小集団活動を通して、自己理解力や自己表現力を育むことをねらいとしている。集団生活の中でよりよい人間関係を築くためには、自分の意見を言葉で伝えたり、他者の意見を認めたりすることが大切である。自分の意見を明確にし、友達と伝え合うことで、コミュニケーションスキルや集団適応力を高められるようにしたい。

指導にあたっては、様々な問題に2択で答え、選んだ理由を考えたりまとめたりする活動を通して、児童の自己選択・自己決定をする機会を作る。意見を交流する活動では、自分の意見を伝えるという目的意識をもち、言葉を使って自己表現できるようにしたい。また、小集団による交流活動なので、自分と異なる意見をもつ友達がいることが予想される。自分と異なる意見であっても、友達の意見のよさに目を向け、肯定的に認めることができるように支援していきたい。

3 児童の実態と個別目標

	題材における実態	題材における目標
A	- 適切な言葉を使って、自分の意見を分かりやすく伝えることが難しい。 - 気持ちに波があり、最後まで活動に取り組むことができないことがある。	- 小集団の中で自分の意見を伝えることができる。【6－(2)】 - 嫌なことがあっても、気持ちに折り合いをつけ、最後まで活動に参加することができる。【3－(4)】
B	- 安心感がないと自分の意見を伝えられないことがある。 - 学校生活の中では、自分の思いを言葉で表現することが少ない。	- 気持ちを安定させて最後まで活動に参加することができる。【2－(1)】 - 小集団の中で自分の意見を言葉で表現することができる。【6－(2)】
C	- 自分の意見を筋道を立てて分かりやすく伝えることが難しい。 - 他者の意見を否定することがあり、良好な人間関係を築くことが難しい。	- 小集団の中で自分の意見を分かりやすく伝えることができる。【6－(2)】 - 他者の意見を認めることのよさに気付くことができる。【3－(2)】
D	- 自分の意見を言葉で伝えることに時間がかかる。 - 自分の意見を伝える力が弱く、良好な人間関係を築くことが難しい。	- 自分の意見をまとめ、言葉で表現することができる。【6－(5)】 - 自分の意見を伝えることのよさに気付くことができる。【3－(4)】

4 指導計画と評価（2時間扱い）

時間数	学習内容・活動	評価規準・評価方法			
		A	B	C	D
1 (本時)	きみはどっちのタイプ？	自分の意見を伝えることができる。【発言】	自分の意見を言葉で表現することができる。【発言・観察】	自分の意見が伝わるように話すことができる。【発言】	自分の意見が伝わるように話すことができる。【発言】
2		嫌なことがあっても、気持ちに折り合いをつけて最後まで活動に参加することができる。【観察】	気持ちを安定させて最後まで活動に参加することができる。【観察】	他者の意見を認めることのよさに気付くことができる。【観察】	他者の意見を認めることのよさに気付くことができる。【観察・発言】

5 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標

意見を交流する活動を通して、自分の意見を伝えたり、他者の意見を認めたりすることができる。

イ 個別目標

A： 自分の意見を伝えて、最後まで活動に取り組むことができる。 【3－(4)】

B： 理由を添えて自分の意見を言葉で伝えることができる。 【6－(2)】

C： 自分の意見を分かりやすく伝えたり、他者の意見を認めたりすることができる。 【6－(2)】

D： 時間を意識して、自分の意見をまとめたり、伝えたりすることができる。 【6－(5)】

(2) 準備・資料

・活動の流れの掲示物・ホワイトボード・ペン・ワークシート（児童用）・手順表

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価（◎評価）		
	全体	A	B
1 はじめの挨拶をする。 2 本時のめあてと流れを知る。 自分の意見を伝えたり、友達の意見を認めたりしよう。 (1) ウォームアップ (2) 『きみはどっちタイプ?』の活動に取り組む。 (3) 振り返り	◎本時の活動の流れを掲示し、見通しをもつことができるようにする。 ◎時間配分を示し、速やかに活動に取り組むことができるようにする。 ◎本時の学習では、自分の意見を伝えること、友達の意見を認めることがポイントであることを伝える。	・掲示物を活用し、視覚的な支援をすることで、活動の流れを理解することができるようにする。 ・本時の活動では、自分の意見を伝えたり、友達の意見を認めたりすることが大切であることをよく確認する。 ・最後まで友達と参加することが個人目標であることを伝える。	・活動の流れを示しながら確認することで、安心して参加することができるようにする。 ・本時の活動では、自分の意見を伝えたり、友達の意見を認めたりすることが大切であることをよく確認する。 ・自分の意見を表現できることが個人目標であることを伝える。 ・友達と一緒にゲームに取り組むことで、緊張を和らげるようにする。
3 ウォームアップをする。 ・風船バレー	◎みんなで一つのゲームに取り組むことで、次の活動にスムーズに取り組めるようにする。	・落ち着いて友達と活動できるよう、設定時間を短くする。	・友達と一緒にゲームに取り組むことで、緊張を和らげるようにする。
4 『きみはどっちタイプ?』の活動に取り組む。 (1) 教師の説明を聞く。 (2) 2択問題のワークシートに取り組む。	◎手順表を示し、視覚的支援をする。 ◎本時の活動のポイントを強調することで、児童の意識を高められるようにする。	・掲示物を活用しながら説明し、活動内容を理解できるようにする。 ・理由が不十分な時は、補助発問をして支援する。	・掲示物を活用しながら説明し、活動内容を理解できるようにする。 ・安心して自分の気持ちを表現できるよう、共感の姿勢

(3) 問題に対する意見を交流する。 5 本時の学習を振り返る。 6 終わりの挨拶をする。	④理由を添えて相手に伝わるように話すことが重要であることをおさえる。 個友達のよいところやよい意見を認められるよう支援する。 ④次時の活動内容を伝え、見通しをもてるようにする。	・最後まで活動に参加できた頑張りを認め、称賛の声をかける。 ◎自分の意見を伝えて、最後まで活動に取り組むことができる。(観察) ・次時の活動にも安心して参加できるようにする。	を示したり、言葉をかけたりする。 ◎理由を添えて、自分の意見を言葉で伝えることができる。(発言) ・自分の意見を伝えたり、友達のよさを認めたりすることができたことを称賛する。 ・次時の活動にも安心して参加できるようにする。
--	---	--	---

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価 (◎評価)		
	全体	C	D
1 はじめの挨拶をする。 2 本時のめあてと流れを知る。 自分の意見を伝えたり、相手の意見を認めたりしよう。 (4) ウォームアップ (5) 『きみはどっちタイプ?』の活動に取り組む。 (6) 振り返り 3 ウォームアップをする。 ・風船バレー 4 『きみはどっちタイプ?』の活動に取り組む。 (1) 教師の説明を聞く。 (2) 2択問題のワークシートに取り組む。 (3) 問題に対する意見を交流する。 5 本時の学習を振り返る。	④本時の活動の流れを掲示し、見通しをもつことができるようにする。 ④時間配分を示し、速やかに活動に取り組むことができるようにする。 ④本時の学習では、自分の意見を伝えること、友達の意見を認めることがポイントであることを伝える。 ④みんなで一つのゲームに取り組むことで、次の活動にスムーズに取り組めるようにする。 個手順表を示し、視覚的支援をする。 ④本時の活動のポイントを強調することで、児童の意識を高められるようにする。 ④理由を添えて相手に伝わるように話すことが重要であることをおさえる。 個友達のよいところやよい意見を認められるよう支援する。	・活動の流れを示しながら確認することで、安心して参加することができるようにする。 ・本時の活動では、自分の意見を伝えたり、友達の意見を認めたりすることが大切であることをよく確認する。 ・落ち着いて友達と活動できるよう、設定時間を短くする。 ・説明する時に、自分の意見を伝えること、友達の意見を認めることがポイントであることを再確認する。 ・早く書き終わった時は、理由を見直して待つよう指示する。 ◎自分の意見を分かりやすく伝えたり、他者の意見を認めたりすることができる。(観察・発言) ・友達の意見を認める発言ができた時は称賛の声をかける。	・活動の流れと時間配分を説明することで、時間を意識して取り組むことができるようにする。 ・本時の活動では、自分の意見を伝えたり、友達の意見を認めたりすることが大切であることをよく確認する。 ・友達とゲームを進めることが難しい時は、教師と個別にゲームができるようにする。 ・伝える時に困らないために理由を書くことを伝え、書く目的意識を高められるようにする。 ・時計を目の前に置き、時間を意識できるようにする。 ◎時間を意識して、自分の意見をまとめたり、伝えたりすることができる。(観察・発言) ・友達のよいところを見つけ、発表できた時は称賛する。

6 終わりの挨拶をする。	④次時の活動内容を伝え、見通しをもてるようにする。	・次時の活動にも安心して参加できるようにする。	・次時の活動にも安心して参加できるようにする。
--------------	---------------------------	-------------------------	-------------------------